

# すがわら文仁



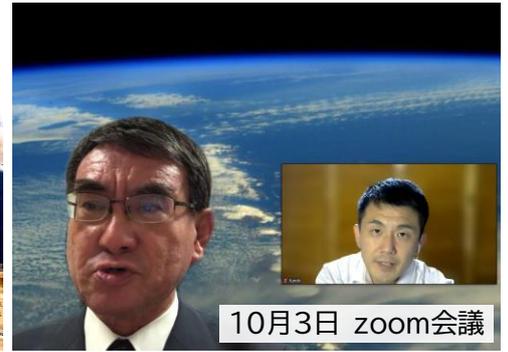
## 新型コロナ 第6波を抑え込む万全の備えを



8月1日 スポーツセンター



9月15日 知事室



10月3日 zoom会議

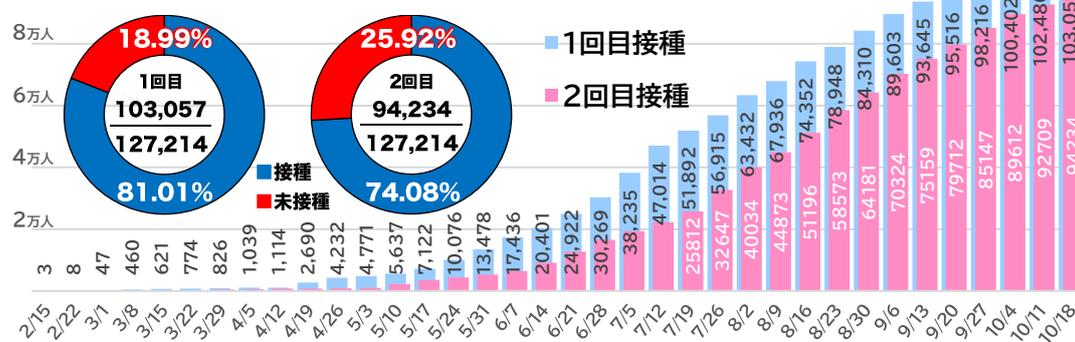
▲1日1000人規模の集団接種会場を設置し、接種を加速

▲大野元裕知事と今後のコロナ対策について協議

▲河野ワクチン担当大臣(当時)と3回目の接種体制について協議

### 県内最速！戸田市のワクチン接種

#### ワクチン接種率と接種状況(10月21日時点)



戸田市のワクチン接種は県内最速で進んでおります。市では、蕨戸田市医師会の皆様との強固な連携により、「接種を希望する人を誰も取り残さないワクチン接種体制の構築」を目指して、ワクチン接種に関する様々な施策(中面参照)を迅速に打ち込んでまいりました。その結果、9月30日には他市に先駆けて対象者の1回目接種率が「75%」を超えました。

#### 年代別ワクチン接種率

10/21時点	1回目	2回目
100歳以上	81.7%	80.0%
90歳代	82.2%	80.7%
80歳代	89.7%	88.7%
70歳代	91.6%	90.2%
60歳代	89.5%	87.1%
50歳代	84.6%	78.9%
40歳代	82.7%	76.0%
30歳代	75.7%	67.0%
20歳代	70.4%	59.5%
12-19歳	73.0%	57.7%
市全体	81.0%	74.1%
(県全体)	73.2%	64.0%

### 活動写真



### 3回目接種は8か月後から

現在、3回目の接種に向け、接種券の印刷・封入や予約システム、コールセンター運営など準備を進めています。対象者は2回目の接種から概ね8か月以上経過した方です。令和4年1月以降、該当者から順次、接種券と予診票を郵送いたします。(接種は任意です)

#### 想定スケジュール

- 11月 接種券順次発送
- 12月 医療従事者接種
- 1月 高齢者接種

# 迅速・安心なワクチン接種の推進

全国初

## 大規模接種センターの設置

戸田市では、戸田中央総合病院の協力のもと一般市として全国で初となる「大規模接種センター」を設置し、戸田市民はどなたでもモデルナ社のワクチンを接種できる体制を構築し、接種を加速化しました。



大規模接種センターを設置

**結果** ワクチンが不足する中、戸田市だけはワクチンを確保できました。結果として9月末時点のワクチン接種率(1回目)は75%に達しており、他市と比較しても接種がスムーズに進みました。

全国初

## ワクチンメーターの公開

毎日、ワクチン供給量や接種率を積極的に情報発信することで、市民のワクチン接種に対する安心感と理解を促進しました。



ワクチンメーター取材

**結果** 戸田市の「ワクチンメーター」は、NHKニュース等で報道されるとともに、内閣府の好事例として全国で紹介されました。現在、ワクチンメーターは全国で活用されています。

全国初

## もったいないバンクの運用

貴重なワクチンを廃棄させないための取り組みとして、予約キャンセル待ちの仕組みを構築しました。



**結果** 登録者は1,000人を超え、結果として無駄なワクチン廃棄は「ゼロ」となりました。

## 妊婦への優先接種

戸田中央産院のご協力により、妊婦が産院内で安心して優先接種できる体制を実現しました。



妊婦への優先接種を開始

**結果** 優先予約した妊婦177人が、産院の中で安心して優先接種を受けることができました。

全国初

## アクシデント事例集の運用

事故防止の観点から、全国の接種ミス・事故の失敗例を収集、分類し公開。市内医療従事者等とも共有し、事故を未然に防ぐことができました。

**結果** NHKやNEWS23といったテレビ、新聞に報道されるなど15件以上の照会がありました。現在、事例集は全国で活用されています。

## 高齢者予約おたすけ窓口

すべての公共施設の窓口と町会会館に職員を配置し、インターネットでの予約が困難な高齢者のワクチン予約代行支援を行ないました。



**結果** 支援件数は全体で6182件を数え、結果として5285件の接種予約につなげました。

全国初

## 高齢者声かけキャンペーン

公民連携の取組みとして、企業や介護事業所と連携して高齢者へのワクチン予約の声掛け活動を実施しました。



**結果** ニュースevery.(情報番組)に報道され、多くの市内団体(138団体)と連携しました。

# 自宅療養者の支援

# 第6波の備え

県内初

## 入院待機ステーションの運用

自宅療養者を救急搬送する際、搬送先の病院が見つからない事態に備え、患者が安心して酸素吸入などの経過観察を行える待機場所を消防本部に設置しました。ひっ迫する救急医療体制の維持と効率的な運用が可能となりました。



**結果** 先進的な取り組みとしてTVニュースや新聞紙上にも注目されました。また、市内療養者のスムーズな搬送を実現しました。

## パルスオキシメーター即日貸出

自宅療養中の方が自覚症状のないまま呼吸困難に陥らないよう、動脈血酸素飽和度(SpO2)と脈拍数をモニターする装置のパルスオキシメーターを即日貸し出す制度を創設しました。



**結果** 療養者の自宅には市職員がその日のうちに機器を貸し出す支援を行います。現在までに貸し出しは55件実施しています。

## 食料品の備蓄食料を配送

自宅療養中の方でその方と同居人の方に対し、人数×3日分の食料(水や食料など)を市職員がお届けする支援を開始しました。



**結果** 療養者の自宅には市職員が食料を配送する支援を行います。現在までに食料品の配送は68件実施しています。

県内初

## 若者や働く世代の接種促進

9月までの未接種者約3万人へ市からの接種の勧奨通知を行なうとともに、若年層や働く世代に向けた金曜夜や土曜の予約枠を増設し、10月30日31日には「予約なし、接種券なし」で接種可能な集団接種会場を設置します。



県内初

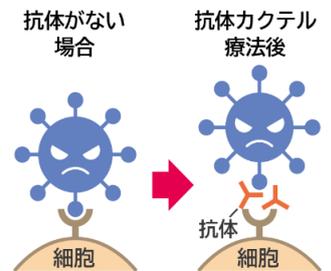
## 路上生活者等の接種支援

接種券が発行されていない方(いわゆるホームレスや路上生活者)に向けた支援として、巡回時に接種の周知をはかるとともに、10月末に接種機会をつくりました。

県内初

## 医療・検査体制の強化

PCR検査や抗原検査の更なる拡大、経口薬など新たな治療薬の導入については、市医師会との連携をはかり、市立市民医療センター等においても早期導入が可能となるよう検討いたします。

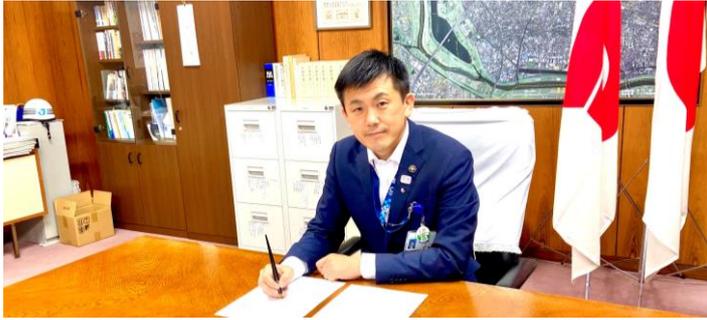


## コロナ後遺症対策の推進

公平病院では、9月より、「コロナ専門病院(期間限定)」として抗体カクテル療法を導入するなど積極的なコロナ対応を進めており、10月からは埼玉県の後遺症外来実施医療機関の認定を受けました。戸田市としても病院との連携により後遺症への支援と理解促進を行います。



# 命を守る。結果につなげる。



日頃より戸田市政に対して深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

感染者が急増した新型コロナの「第5波」が去り、市内の状況も落ち着いてまいりました。(10月21日時点)

戸田市においても、かつてない厳しい状況が続きましたが、県内初となる「入院待機ステーション」の設置などの自宅療養者支援を行なうとともに、妊婦優先接種をはじめとしたワクチン接種の加速化を進めました。

結果として、1回目のワクチン接種率は県内最速で75%を超えるとともに、10月21日時点の感染者数(週平均)



は、ピーク時の30分の1程度にまで減少しております。関係機関の皆さまのご尽力の賜物と心から感謝を申し上げます。

しかし、「ブレイクスルー感染」という言葉が物語るように、ワクチンの際を突いたコロナウイルスの変異と感染が目立ちます。これから冬の時期を迎えるにあたって、「第6波」への備えが重要です。

今後は、検査・医療支援体制のさらなる拡充とともに、新たな治療薬の導入やコロナの後遺症への対応、また3回目のワクチン接種に向けた準備も着実に進めなければなりません。そして、ポストコロナに向けた生活支援策や経済振興策もしっかりと打ち込んでいかなければなりません。

市長職をお預かりしてから3年6か月が過ぎました。当初、予想だにしませんでしたが、このうち半分の期間をコロナとの闘いに費やし、まだ終わりが見えずにいます。

昨年4月、初めて緊急事態宣言が発令された際、本部長として私は以下のような訓示を行いました。

**一、先の大戦以来の国家の命運を分ける事態との認識を持つ**

**一、危機事態にあっては朝令暮改も必要。市民の命を守る軸がブレなければ臨機応変に対応しよう**

**一、今こそ戸田市職員の真価が問われる時、各員奮闘しよう**

平時と有事ではリーダーシップの取り方も異なります。感染症のように波動的に発生する課題には、行政が得意とする「物事を積み上げていく方策」は必ずしもうまくいきません。



**危機管理には料理と同じく「さしすせそ」があると言われております。(さ)最悪の事態を想定し、(し)慎重に、(す)素早く、(せ)誠意をもって、(そ)組織で対応する。**私はこの「さしすせそ」に付け加えて、流動的な状況の中で、高い精度の情報を得ることを心がけて、結果につなげる努力をしてまいりました。そして行政運営についても、柔軟な人員の配分や物資の調達、適切な予算執行とともに各ステークホルダーとの円滑な連携体制づくりにも力を注いできました。

まだまだ予断を許さない状況が続きますが、市民の日常生活を一刻も早く取り戻すため、今後も市民の命と健康をお守りすべく全力を尽くしてまいります。引き続き皆さまの感染拡大防止へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

戸田市長 菅原文仁

市政レポート93号発行 菅原文仁後援会  
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F  
TEL/FAX 048-432-3585  
HP sugawarafumihito.com  
Email mail@sugawarafumihito.com

【略歴】昭和50年生まれ ■美谷本小学校卒、美笹中学校卒 ■埼玉県立伊奈学園総合高校卒 ■日本体育大学卒(教員免許取得)、明治大学大学院修了(公共政策学修士) ■元社会体育会社代表 ■戸田市議会議員(2期・6年) ■埼玉県議会議員(2期・7年) ■平成30年 第4代 戸田市長に就任 ■埼玉県体操協会 副会長 ■防災士 ■東京経営短期大学客員教授 【趣味】読書・ジョギング 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 【家族】両親・妻・娘・息子